



20周年記念 第11回 いきいきシルバーフェア

11月2日、20周年記念シルバーフェアを市の後援のもと、西宮中央公園・市民運動場で実施しました。100名を超える会員スタッフと事務局で事前準備から当日の運営まで熱心に取り組み、お蔭様で2000名におよぶ方々がご来場。心をこめた「おもてなし」ができました。お手伝いくださった皆様、本当にお疲れさまでした。

フェア実行委員長 渡邊 茂



笑

顔

はじけるフェア会場



労作ぞろいの手づくり作品



フェア恒例の焼そば・焼き芋



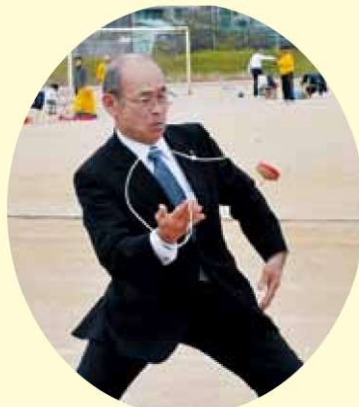
植物・野菜も人気の的



工作テーマは紙の皿回し



お見事！市長の駒回し



こわごわ、体力測定



けっこうなお点前♥♥♥



坊や、きびしい攻めですな



なかなか鋭いキックだよ



編集後記

大野林火という俳人の句に「期すものに老後も初心水澄めり」があります。高齢になっても、いや高齢になったからこそ、新しいことにチャレンジし、新しい出会いを楽しむことが元気のみなもとです。今年も元気いっばん、手をつないで前進しましょう。(F)

毛筆・筆耕講習会

毛筆で手書きされた文字のよさは、パソコンが普及してきた時代にあっても健在です。

卒業証書や賞状、結婚式の招待状の宛名など、毛筆文字は一生に一度の大切な場面を蔭で支える名脇役です。

さらなるレベルアップを目指して講習会を開催し、腕を磨いています。



パソコン教室

パソコンに深く習熟した会員による独自事業「パソコン教室」では、スイッチの入れ方から会計ソフトの実践まで丁寧に教えています。市中の教室では授業料も安くない上、「こんなこと今更聞けない」雰囲気がありますが、ここはそうではなく、楽しく学べて実用的！



▲本日はお気に入りの音楽を取り込み自分だけのCDを作るコース。この世代だけに「オールディス」に偏りがちなのはご愛嬌。

マナーアップ講習会

9月9日と11月7日、体育館などの施設管理業務に就業中の会員を対象に、マナーアップ講習会を実施しました。受講者一同は、初心に帰って、挨拶・言葉遣いのマナーを学習。また、鏡に向かってスマイルエクササイズを学び、会場内でおじぎの仕方を実践しました。今後は、会員全体にマナーアップの講習を広げて行きたいと考えています。



▲講師の田野直美さんは、トータルマナー株式会社代表取締役

市民祭り

前日の雨も止んだ10月26日、にしのみや市民祭りが無事開催されました。手作り・ふれあいチームの作品の出展ブースは、沢山のお客様で賑わい、予想を越える売上げでした。センターのPRとしてチラシを配布。「シルバーフェア」の案内も行いました。参加いただいた皆さん、ご苦労様でした。



バスツアー

11月19日、秋のバスツアーを実施。鳴門観潮と淡路島回遊の旅に122名が参加しました。淡路島では花さじきのコスモスが咲き乱れる中で瀬戸内海の眺めを堪能し、北淡路震災記念公園の野島断層を見学。圧巻だったのは鳴門観潮を真上から眺められる渦の道。大潮の時刻にも恵まれて迫力ある海の絵巻を存分に楽しみました。



清掃ボランティアを実施

11月12日、秋の『清掃ボランティア』が互助委員会主催で行われました。今回は新しい試みとして9地区を3グループに分け、第1&2グループは、同日9時30分スタートし、11時まで総計280名(第1グループ174名、第2グループ106名)の会員が参加しました。第1グループ(夙川・中央・瓦木・甲東)は、山手幹線沿いの阪急夙川駅から武庫川の山手大橋間、第2グループ(鳴尾・鳴尾南・浜脇・津門/今津)は甲子園浜海浜公園内ふるさと海岸地区を担当。また、第3グループ(塩瀬・山口)は、12月7日、青愛協主催の有馬川クリーン作戦に25名が参加しました。



◀有馬川の清掃

山手幹線沿い清掃▶



◀甲子園浜の清掃

大盛況のアートフェア

10月1日～6日、アクタ東館6階ギャラリーでシルバーフェアの一環として「アートフェア」が開かれました。書道、絵画、写真同好会の力作がフロアいっぱいに展示され、多くの来場者の目を惹きつけ、アマチュアとは思えない出来栄に長く足を留める見学者もいました。

昨年から引き続き出展された会員さんも多く、ますます腕を上げられていることに感服するばかりでした。

6日間の開会中、556名が来場、その中には河野市長の姿もありました。

会場一角に当センターのPRコーナーが設けられ、理事が交替で人材センターの広報活動を展開、見学者の質問などに熱心に答えていました。



力作ぞろいのフロア



6回目の午年を元気に迎えられるとはあの日の私には想像できませんでした。31歳の時4つの臓器にメスを入れ薬のベットの寝かされ長い入院生活。「母としても少し生きていたい」との思いだけでした。いい先生に巡り合い72歳の年を迎えることができました。センターに入り「クリエート西宮」の手作りチームの一員として沢山の人も出会え、楽しい経験をさせてくださいます。今年も皆様とともに楽しい年でありま



蟻田典恵会員

年女

遂に來ました6回目の年男。年男って一般には、おめでたい人(バカではない)とか言われていますが、調べて見ると「昔は正月に年の神を迎えて祭りの役目をする一家の主人」とあります。私の家には神棚もなけりや、一家の主人と言われても家内と二人だけ。神様から見れば行く値打ちもない家でしょう。昔一族郎党が集って神様をお迎えた頃の年男はさぞや幸せでしたでしょう。



前野晃会員

年男

就業先訪問★駅リンくん

自分たちの手で職場をより良くする！

Q どんな仕事内容ですか

ひと言でいえば自転車のレンタル業務です。お客様は近隣の会社への通勤などに利用される「定期会員」と、甲子園球場や西宮ガーデンズなどへ出かけるのに利用される「一回利用」の二つがあります。前者の場合は、会員登録・月毎の継続更新・退会手続き、そして月2000円の徴収業務があり、後者の場合は「利用カード」発行し、1回300円を徴収します。そして、これらの利用実績と徴収料金をパソコンで日次処理します。

Q 自転車の取扱いについては

220台の自転車が毎日フル稼働しています。お客様に安全・快適に利用していただくため、整備に気をくばっています。サドル・ブレーキ・タイヤなどを点検し、不具合があれば、自分たちの手で修理します。殆どプロの腕前だと自負しています。

Q 日頃から留意されていることは

やはりお客様に良いサービスを提供することが基本ですね。それには「いつでも・笑顔で・気持ちよく」同じように提供できるサービスの標準化・手順化が必要です。そこで、



お話しをうかがった高野宏夫会員 平成21年7月から就業。ベテランのリーダーとして活躍されている。

駅リンくん甲子園口店のプロフィール

JR西日本レンタカー&リース株式会社直営のレンタサイクル店。11年前からセンターが業務受託。JR甲子園口の駅前にあり、9名の会員が就業している。早朝6:20から深夜11:00まで4シフトの体制で就業。その抜群のチームワークによるサービス品質が高く評価され、会社から3年連続で表彰を受けている。



自作の修理マニュアル



メンテナンス部品



メンバーも含めた業務マニュアルやメンテナンスマニュアルを手づくりし、就業会員に周知徹底を図っています。また、就業前の会員の研修も全員で協力して行い、就業辞退者は皆無です。「自分たちの手で職場をより良く！」という気概が大切ですよ。

Q 仕事にやりがいを感じる時は

毎日つつがなく業務を遂行できることが大前提ですが、やはり人との出会いですね。時々、仕事仲間と飲み会をしています。お客様とも懇意になり、勤め先の夏祭りや餅つき大会などにお誘いを受けたこともあります。

鳴尾地区

瀧内 邦男

班会議で地区行事の活性化を

鳴尾地区では、年5～6回の役員会と総会を1回実施、地区行事を行う上で支障はないが、同じ参加者が集まる傾向があり硬直化が感じられる。今後活性化が必要と考えていたところ、理事から班会議の提案があり、本年度より開始。現在7地区のうち、3班9名、5班16名、4班6名の参加で開催。地区地域班の活動の再認識、自己紹介、情報交換等をする中で、参加率は少ないが、地区内会員の親睦もでき、今のところ有意義な会議になっていると思います。今後、他班も開催しますので、会員の方ぜひご参加ください。

鳴尾南地区

新居 俊一

「鳴尾南に入ってよかった」の実感を

昨年は各班主催の懇親会を催し、活発な意見交換や就業・広報紙配布にまつわるエピソードや同好会の活動状況などを聞き、大いに盛り上がりました。交流の場として有意義な時を持ってました。今後も「シルバー鳴尾南に入会してよかった。」と思っただけのよう、微力ながら努力をしてゆく所存です。

瓦木地区

山口 博造

シルバーパワーを発揮

シルバー人材センター会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。会員の皆様は広報紙の配送、配布、地域貢献活動の清掃ボランティア、安全講習会などに参加され大いにシルバーパワーを発揮されています。秋にはシルバーフェア、バス旅行などがあり、楽しく一日を過ごしました。

甲東地区

吉田 通弘

年度計画に基づき多彩な活動を展開

甲東地区では、四半期ごとに世話役会を開催、年初に年度計画を作成、5月に武庫川清掃ボランティア、6月に救命講習会を実施。新入会員が早く地区活動に慣れ親しめることを目的として7月と8月の2回新入会員交流会、9月に円滑な配布活動を目指し正副責任者・配送会員連絡会及び配送・配布会員交流会、11月には4地区合同の秋の清掃ボランティアを実施しました。今後、2月に公園パトロール担当者交流連絡会、3月に地区総会等の開催を予定しています。

塩瀬・山口地区

前野 晃

有馬川クリーン作戦に参加

今年も当地区青少年愛護協会主催の有馬川クリーン作戦に参加しました。12月7日気温10度と師走の風が冷たく、川に入ると長靴の先から冷たさがジンと足に伝わります。そんな中、地区会員と応援に駆けつけて頂いた猪股理事長を含め25名で川底のゴミを拾って歩きました。川は年々綺麗になっており、沢山のゴミはありませんが、ホタルの生息できる環境を保ち自然を大切にしたい気持ちを共有すること、また来年もお礼にホタルが川に乱舞してくれることを楽しみに作業を終えました。

新春 地区便り



夙川地区

北原 孝

地区会員のつながりを大切に

地区のコミュニティー形成をいかに創り上げるかをテーマに、さまざまな懇談会を開催しています。地区総会を始め、地区役員会(年6回)、班別会議(各班年1～2回)、広報紙配送&配布者会議(年1回)、新入会員懇談会(年2回、上期・下期)、バス旅行(隔年)、救命講習会(年1回)、清掃ボランティア(年1回)などを開催し、その都度、会員相互意思疎通を深める飲み会も実施。また、独自事業である「かぶとやま荘みはらし」を支援するために役員一同、自費による忘年会や新年会も開いています。

中央地区

互助委員 赤松 慶三郎

ボランティア活動の拡大徹底を!

本年度の目標のひとつに、ボランティア活動の拡大徹底を掲げ、会員交流の活性化を図りました。地区清掃(広田神社=49名)、全体清掃(山手幹線道路=38名)への参加。シルバーフェア積極参加、有志参加のバスツアー(鳴門観潮、淡路島=10名)に…。年間を通し、常にシルバーならではの奉仕が遂行できるか、地域にどれほど参加、貢献できるかを考え、取り組みました。次年度への心構えを新たに、地区結束を誓って前進を続けます。

浜脇地区

工藤 邦宏

まとまりのある浜脇地区に

浜脇地区の活動は、夙川の清掃ボランティアから始まります(昨年は悪天候で中止となり残念でした)。救命講習会是指導員から実践を加えながら丁寧に教えていただき、楽しく学べました。懇親会は今までと趣向を変えて「しゃぶしゃぶの食べ放題・飲み放題」で心もお腹も満腹になりました。女性会員も加わっての役員会の様子を理解してもらい、より協力を得られるよう、その議事録を地区会員に配布しています。多くの会員が講習会や行事に参加してもらえる「まとまりのある浜脇地区」を目指しています。

津門・今津地区

田中 武

お役に立てる組織へ努力

本年度は公益法人としての2年目に当たり、当地区では会員相互の親睦、とくに役員間の連絡を密にして目標を定め、普及啓発活動やボランティア活動を進めたいと考えましたが、厳しい予算のもとにはいかず苦慮しています。

新年度は次期役員を選定も控えており、今まで以上に厳しい運営になると思いますが、少しでも会員及び住民の皆様のお役にたてるよう努力したいと考えております。

理事会 役員 の 役割

シルバー人材センターは会員で構成されていることは既にご存じと思いますが、その最高決議機関は年一回5月末に開催されている総会です。会員数二千二百人のうち、四百人近い出席者と多数の委任状をもとに、定款により決算書、役員承認や事業計画・予算書などの報告を議案としています。

理事会は総会で承認された理事・監事で構成され、意思決定を行う合議制の機関です。当センターでは通常二カ月に一度開催されています。

理事は会員で九地区から各一名と女性会員の代表として一名、計十名の会員理事と、市役所、商工会議所、社会福祉協議会から四名、計十四名が選出されています。

また、監事として会員から一名、外部の会計事務所から一名が選任され、理事の中から代表理

事である理事長と業務執行理事となる常務理事が選出されています。

理事会の中では理事長と常務理事が執行機関となり、提出されるさまざまな議案が理事会により、審議され、執行の決定をします。また会員理事には専門部会と各委員会を担当していただいておりますが、その職務を含めて執行状況全般の監督も理事会の役割です。

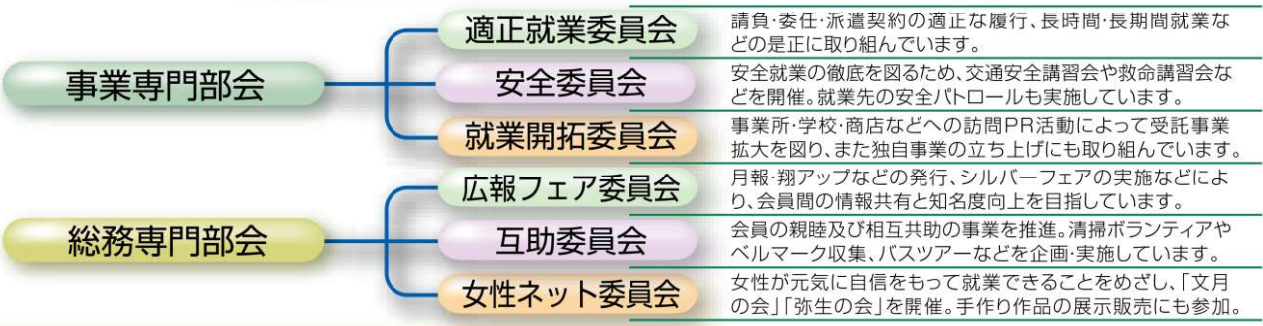
理事の任期は二年ですが、再任可となっており、三期六年で満期となります。(ただし、年齢制限などもあります)

現在女性理事は二名のみで、今後は女性の理事が増えることが期待されています。

監事は理事の職務の執行を監査し、決算書の監査報告を作成し、理事会・総会で報告することになっております。

詳しいことは皆様にお渡ししています「会員ハンドブック」を開いていただき、19ページ以降にある組織図・定款などを参照ください。

各部会・委員会



女性ネット委員会 「文月の集い」

7月5日 中市民館
参加者 40名

会場に七夕の笹が用意され、集いの始まる前に各会員が短冊に願い事を託し、見事な七夕飾りができ上がり、和やかな雰囲気の中、山崎理事による開会のことは、猪股理事長の挨拶で始まりました。

その後、体験者の発表があり、山川泰子(夙川)朝陽八重子(鳴尾南)赤峰廣美(夙川)の3会員がそれぞれの就業体験を披露されました。

次いで、木寅課長より女性の就業についての「現状と課題」のお話、そのあと6グループに分かれての座談会で、活発な意見交換がこなわれ、有意義な集いを終えました。

高齢社会での

シルバー人材センターの役割を期待します。

明けましておめでとうございませす。

西宮市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、皆様方には、平素より市政各般にわたりまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本市の65歳以上の方は、昨年9月末で101,371人おられ、一昨年に比べおよそ4千人増加しております。

また、市人口に占める割合は、21%と年々高くなっております。このように、本格的な高齢社会



西宮市長 河野 昌弘

を迎え、働く意欲・能力のある高齢者の方々に、それぞれのライフスタイルに合わせた就業の機会を提供するシルバー人材センターの役割は、今後益々高まるものと存じます。

「誰もが住みたい、住み続けたい」と願う「文教住宅都市・西宮」が、さらに発展していくためには、社会で経験を積まれた高齢者の皆様が、「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、仕事や、ボランティア活動をはじめとする地域活動で活躍していただくことが不可欠です。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご健勝ご多幸と西宮市シルバー人材センターの益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

（この文章は、市長の挨拶文の一部として、上記の文脈で整理された）

10.31開催

平成25年度 兵庫県シルバー人材センター協会事業推進大会

当センターからは
18名の会員と
2名の役員が表彰されました。

兵庫県シルバー人材センター協会の事業推進大会が神戸・松方ホールで10月31日にあり、恒例の15年表彰で当センターから18名の会員と役員表彰で2名の役員が受賞されました。（猪股理事長・木村元副理事長）

事例発表では神戸市シルバーから「農園の立ち上げ〜黒豆など」の報告がありました。

来年のNHKの大河ドラマ「黒田官兵衛」について地元の黒田節顕彰会の黒田美江子顧問の講演があり、ドラマ化にいたる経過なども紹介されました。

なお、同会場横では8シルバーの協力による手芸品や農作物の即売会が開催され、養父市シルバーの新米などよく売れていました。



木村元副理事長

猪股理事長





翔アップ

— 主な記事 —
 理事長挨拶……1P
 市長メッセージ……2P
 新春地区便り……4P
 就業先訪問……5P
 活動報告……6P
 シルバーフェア……8P

第63号
 2014 正月

平成26年1月15日発行

発行／公益社団法人 西宮市シルバー人材センター 〒662-0862 西宮市青木町2-5
 TEL:0798-72-3461 FAX:0798-72-3542 <http://www.nishisilver.com> 編集／広報フェア委員会



▲就業風景・駅リンくん（5Pに紹介記事） 撮影／藤井克己会員

新春のご挨拶

お互いに健康第一にし、「ヤル気」の年にしませう



理事長
 猪股 衛

新年あけましておめでとうございます。昨年は公益法人になって二年目となりましたが、景気の上昇の気配もうかがえない様子でした。

本年はアベノミクス効果に刺激され、より活発な仕事の引き合いがきますよう祈願したいと思います。そして会員の皆様健康で安全に就業できますよう、身体を大事にしてくださいと思います。また、就業先を探されている会員には紹介があればぜひ頑張ってください。今年「ヤル気」の年になります。仕事に興味に元気で歩を進めてまいりましょう。